

## 発言通告書

発言者氏名	加藤ゆうすけ
発言の会議	令和4年 8月29日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

### 【件名及び発言の要旨】

#### Ⅰ 障害特性に合わせた支援が必要な市民等への各年齢段階における諸課題への対応について

##### (1) 乳幼児期の障害児支援について

- ア 療育などの福祉サービスに関する情報を、転入間もない市民にも積極的に届けることの必要性について
- イ 転入の際に福祉サービスの存在に気づくことができる機会を積極的につくることについて
- ウ 乳幼児期の障害児の子育てに向き合う保護者が不安なまま待機する時間が短縮されるよう、さらなる相談の機会を提供することについて
- エ 社会性発達のリスク評価を行う機器を導入し、最適な療育への接続と保護者の安心感につなげることについて

##### (2) 学齢期の障害福祉について

- ア 教員不足が原因となる中での本市の特別支援教育の現状について
- イ 巡回相談のさらなる活用につながるニーズの調査、把握につ

いて

ウ 各学校の特別支援教育を支援するため、特別支援学校が有する特別支援学級に対するセンター的機能を強化することについて

## 2 小中学校の水泳授業について

- (1) 様々な論点から水泳授業を再考することについて
- (2) 水泳授業を外部の専門家に段階的に委ねることについて